

Osaka Creative Forum

新しいパブリックは
いかに持続可能なものとなるのか

まちが魅力的であり続けるための
フラットフォームとは？

新しいパブリックは
いかに持続可能なもの
となるのか

近年、日本の各地で市民や地域住民、あるいは企業等による公共空間活用のチャレンジが盛んになってきている。イベントや社会実験、あるいはエリアマネジメントなどにみられる民間の新しいパブリックへの挑戦は、はじまったばかりであるが、今後、継続されるのであろうか？

今回のフォーラムでは、「新しいパブリックの持続可能性」に焦点を当て、その手法やアイデア、仕組みについて、3名のゲストを迎え、実例を交えながら、白熱した議論を行っていただきます。

2015.9.4 FRI
18:00~

大阪市中央公会堂 3F 小集会室
定員 150名 参加費 1,500 円

地域を豊かにする新たな
パブリックの生み出し方と
持続していく方策。



藻谷 浩介氏 (もたに こうすけ)

(株)日本総合研究所 主席研究員／
(株)日本政策投資銀行 地域企画部
特任顧問 (非常勤)／
特定非営利活動法人
ComPus地域経営支援ネットワーク
理事長

新たな公共空間の価値を
紡ぎだしていくまちの
リノベーション。



馬場 正尊氏 (ばば まさたか)

建築家／Open A 代表／
東京R不動産ディレクター／
東北芸術工科大学准教授

まちの魅力的な
使いこなしを共有する
新たなパブリックを支える
しくみづくり。



忽那 裕樹氏 (くつな ひろき)

大阪府立
江之子島文化芸術創造センター
プラットフォーム部門
チーフディレクター／
ランドスケープデザイナー／
株式会社E-DESIGN代表取締役

Osaka
Creative
Forum

Osaka Creative Forum

江之子島文化芸術創造センター（enoco）が担う「プラットフォーム形成支援事業」では、公共空間の利活用、地域の活性化、まちづくりなど、単独の部局だけでは解決が困難な複合的な行政課題に対して、アーティストやデザイナー、府民、専門家などの多様な立場の組織や人が、“プラットフォーム”を形成し、行政主導ではなく、対等な立場で交流・対話を行い、アートやデザイン等をツールとして、解決策を検討し提案する官民共同の体制づくりを支援しています。

都市整備や医療や福祉、防災等、様々な分野で新たな行政手法を獲得する政策イノベーションをもたらすことを目指すプラットフォーム形成支援事業を知っていただくとともに、手法としての有効性をより深く議論するため、斬新な実践や考え方で大きな注目を集めるゲストをお迎えし、第3回「Osaka Creative Forum」を開催します。

開催内容 18:00-20:30

- ① 主催者あいさつ
- ② パブリックデザインの先進事例紹介
藻谷 浩介 馬場 正尊 忽那 裕樹
- ③ パネルディスカッション

[主催]
大阪府、
大阪府立江之子島文化芸術創造センター（enoco）

[事務局・問い合わせ・申し込み先]
江之子島文化芸術創造センタープラットフォーム部門
株式会社 E-DESIGN 内
TEL: 06-4964-5151 FAX: 06-4964-5152
Mail: enoco@edesign-inc.com (担当: 杉田・石塚)

新しいパブリックは いかに持続可能なものとなるのか

まちが魅力的であり続けるためのプラットフォームとは？

パネリスト

藻谷 浩介（もたに こうすけ）氏

山口県生まれの51歳。平成合併前3,200市町村のすべて、海外72ヶ国をほぼ私費で訪問し、地域特性を多面的に把握。2000年頃より、地域振興や人口成熟問題に関し精力的に研究・著作・講演を行う。2012年より現職。近著に『デフレの正体』、『第七回新書大賞』を受賞した『里山資本主義（共に角川Oneテーマ21）』、『金融緩和の罠（集英社新書）』、『しなやかな日本列島のつくりかた（新潮社、7名の方との対談集）』。

馬場 正尊（ばば まさたか）氏

Open A 代表／東京R不動産ディレクター／東北芸術工科大学准教授。1968年佐賀県生まれ。1994年早稲田大学大学院建築学科修了。博報堂、早稲田大学博士課程、雑誌『A』編集長を経て、2002年 Open A を設立。都市の空地を発見するサイト「東京 R 不動産」を運営。東京のイーストサイド、日本橋や神田の空きビルを時限的にギャラリーにするイベント、CET (Central East Tokyo) のディレクターなども務め、建築設計を基軸にしながら、メディアや不動産などを横断しながら活動している。主な著書に『都市をリノベーション』（NTT 出版）、『PUBLIC DESIGN 新しい公共空間のつくりかた』（学芸出版社、共著）など。主な作品に「観月橋団地再生計画（2012年、グッドデザインサステナブルデザイン賞）」、「TABLOID（2010年）」など。

忽那 裕樹（くつな ひろき）氏

1966年大阪府生まれ。大阪府立大学農学部緑地環境工学科卒業。景観・環境デザインをはじめ、まちづくりの活動や仕組みづくりまで、幅広いプロジェクトに携わる。庭園をはじめ公園や広場、大学キャンパス、商業・集合住宅・病院などのランドスケープのデザインとプログラムを国内外で展開。また、パークマネジメント、タウンマネジメントを通して、地域の改善や魅力向上に様々な立場で関わり、現在、官民協働の場として設立した水都大阪パートナーズ及び江之子島文化芸術創造センターのプロデューサーを務めている。NPOパブリックスタイル研究所理事長。

申込方法

- 必要事項を下記に記入し、FAXもしくは、メール（※）でお送り下さい。
※メールの方はタイトルを「enoco シンポジウム申し込み」として下さい。
- 申込の確認後、事務局からメールもしくはFAXでご連絡させていただきます。
- 先着順で受け付けます。（定員 150名）
- 参加申込受付を受信して申し込み完了となります。※参加費は当日受付でお支払いください。

代表申込者		メールアドレス	
所属		肩書	
TEL		FAX	

参加者名		

参加者人数 人 × 参加費 1,500円 = 参加費合計 円

申込先 FAX: 06-4964-5152 Mail: enoco@edesign-inc.com